

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第3節 青少年健全育成			事業の必要性 【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策1 青少年の健全育成の推進			事業の効率性 【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	青少年教育振興基金			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	生涯学習スポーツ課			事業の成果・分析	令和5年度の青少年教育振興事業助成件数(111件)と比較すると、令和6年度は同等の申請件数があり、青少年の健全育成の推進ができています。		
事業概要	青少年教育振興事業(芸術文化、スポーツ、国内外派遣研修等参加、地域交流、環境美化及び奉仕活動)の推進に貢献する個人・団体に対し、助成を行う。 また、寄附金などを青少年教育振興基金に積み立てる。						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	新座市青少年教育振興基金条例						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算 ・ 決算	予算現額(円)		8,717,000	6,478,000			
	財源内訳	一般財源	1,897,000	2,150,000			
		特定財源等	6,820,000	4,328,000			
	支出済額(円)		8,175,059	6,471,035			
	不用額(円)		541,941	6,965			
	執行率(%)		93.78%	99.89%			
実施内容		青少年教育振興事業の推進に貢献する個人・団体に対し、助成を行った。 助成件数：111件 助成額：3,509,589円 寄附金等を青少年教育振興基金に積み立てた。 積立額：2,936,185円(寄付45件分+令和5年度繰越分)					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標 ・ 成果 指標	指標名	単位					
	青少年教育振興事業助成件数	件	111	111			
今後の方向性		Ⅲ		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了			
今後の取組方針		青少年教育振興事業の推進に貢献する個人・団体に対する助成を継続して実施する。					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)				
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず		
施策領域	第3節 青少年健全育成					B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策1 青少年の健全育成の推進			B	A：余地はない B：余地はある			
事業	新座つ子ばわーあつぷくらぶ				A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い		
所属	生涯学習スポーツ課			事業の成果・分析		クラブ数の増加により定員数は増加したが（R5：27クラブ→R6：28クラブ）、定員割れのクラブが令和5年度と比較して増加したため、クラブ参加者数が減少した。年度により申込者数が定員を超えることにより抽選となるクラブが変わる状況にあるため、参加者数の増加を目指すには興味を引く内容を充実させることが必要であり、更なるクラブの開設を推進していく必要がある。		
事業概要	市立小学校等を会場として、スポーツ推進委員、青少年育成推進員会などの団体及び様々なスキルを持つ地域のボランティアが指導者となって、学習・文化・スポーツ・自然体験のジャンルで様々なクラブを開設し、子どもたちの週末活動の一層の充実と安全・安心な居場所の確保を図るとともに地域の教育力の活性化を図る。							
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他							
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度＋市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度							
根拠法令等	埼玉県放課後子供教室推進事業等実施要綱							
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)				
予算 ・ 決算	年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	予算現額 (円)		3,358,000	3,654,000				
	財源内訳	一般財源		1,220,000	1,766,000			
		特定財源等		2,138,000	1,888,000			
	支出済額 (円)		2,879,552	2,795,748				
	不用額 (円)		478,448	858,252				
執行率 (%)		85.75%	76.51%					
実施内容		市立小学校等を会場として、スポーツ推進委員、青少年育成推進員会などの団体及び様々なスキルを持つ地域のボランティアを指導者として、学習・文化・スポーツ・自然体験のジャンルで様々なクラブを開設し、子どもたちの週末活動の一層の充実と安全・安心な居場所の確保を図るとともに地域の教育力の活性化を図った。 クラブ開設数：28クラブ クラブ参加者数：451人						
活動 指標 ・ 成果 指標	年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	指標名		単位					
	クラブ開設数		クラブ	27	28			
	クラブ参加者数		人	508	451			
今後の方向性		II		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了				
今後の取組方針		クラブの開設数を増やすため、引き続き本事業の周知を図り、指導者の確保に努めていく。						

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和6年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第3節 青少年健全育成			事業の必要性【市民ニーズ】	A	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策1 青少年の健全育成の推進			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある	
事業	子どもの放課後居場所づくり			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	生涯学習スポーツ課			事業の成果・分析	放課後等に子どもたちが安全・安心に集える居場所を提供した。給食のある日の放課後は毎日開室するなど県内他市と比較し充実した事業内容であるため、登録児童数も多く、子育て世代にとって満足度の高い事業となっている。放課後児童保育室の指定管理者による一体的な運営を想定しており、直営校については委託化の検討を進める。		
事業概要	放課後等に学校施設を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設置し、地域の方々の参画を得て、勉強、スポーツ、文化活動、地域との交流活動等を実施することにより、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度＋市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	埼玉県放課後子供教室推進事業等実施要綱 他						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額 (円)		163,939,000	157,489,000			
	財源内訳	一般財源	110,438,000	109,717,000			
		特定財源等	53,501,000	47,772,000			
	支出済額 (円)		159,398,084	152,580,448			
	不用額 (円)		4,540,916	4,908,552			
執行率 (%)		97.23%	96.88%				
実施内容		放課後等に学校施設を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設置し、地域の方々の参画を得て、勉強、スポーツ、文化活動、地域との交流活動等を実施することにより、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進した。 実施日：毎週月曜日～金曜日の放課後～午後5時（冬季のみ午後4時30分） 長期休業日（夏・冬・学年末）は、午前8時45分～午後4時30分 実施場所：各小学校のココフレンドルーム、校庭、体育館、図書室等 登録児童数：3,320人					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	登録率	%	39	39			
今後の方向性		II		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了			
今後の取組方針		引き続き、放課後等に子どもたちが安全・安心に集える居場所を提供する。					